

# 未来へ(東中だより)

第15号 令和4年12月12日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ  
「知性・感性・耐性」を  
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:52-8184

<https://www.education.saga.jp/hp/higashifuri-j/>

## 東脊振中の世代交代 生徒会長選挙 生徒集会

11月28日に生徒会長選挙の立会演説会と投票が行われました。選挙管理委員会のもと、21日からの掲示版、放送、朝の選挙運動を経てきました。選挙に際して、以下のような話をしました。

「東脊振中学校の実質的な世代交代のための選挙の日となりました。きちんとした学校生活、礼儀正しく、自慢できる学校、みんなが楽しく安心して高め合えるような学校にするために、真剣に考えてくれています。大変うれしいことです。自分たちの社会を自分たちの力で良くしていこうという取組、それを『自治』といいます。生徒の集団も一つの社会です。みんなが快適にすごすための自治の第一歩が、生徒会長を選ぶこの選挙です。『自治』は、リーダーシップとメンバーシップから成り立ちます。だれにリーダーシップをとってもらうか真剣に考えて、公正に投票することがメンバーシップの重要な要素です。18歳になって国や県や町の選挙に参加できるその日のためのいしずえとして、一票の重みを感じながら演説と投票に臨んでください。」

### <立候補者及び主張内容>

- ・2A 大隈 想志「切磋琢磨」仲間同士で励ましあい高め合う生徒会
- ・2A 池田 和香「有言実行」自分の発言に責任をもって、成し遂げる生徒会
- ・2B 多良 碧「初志貫徹」学校を活性化し、目標を達成する生徒会
- ・2B 中島 菜奈「雲外蒼天」現状維持から脱却し、高みを目指す生徒会

どの候補者も自分が考える生徒会や学校の姿を堂々と熱く語っており、その姿には2年生の成長が顕著に表れていました。開票の結果、規定により中島菜奈さんが会長に、大隈想志さんが副会長に選ばれました。新生徒会の活躍が楽しみです。

そして、12月7日は3年生の現生徒会による最後の「生徒集会」でした。冒頭の話では、中山会長が「体調管理に気をつけ、終業式まで気を抜かず生活をしてください。」と訓示しました。また、学習部による「月1満点テスト」の表彰(第1位:2年A組)、美化奉仕部による「赤い羽根募金」と学校美化の呼びかけが行われました。校歌斉唱では、会長指揮のもと元気な歌声が響き、心が温まりました。3年生、ご苦労様でした。



## 研究発表会 開催! 12月9日

12月9日(金)の午後、本校で「小中連携による学力向上推進地域指定事業」の研究発表会を行いました。公開授業は、2年A組の社会科(永田公平教諭)、2年B組の理科(中尾裕二教諭)でした。

社会科では、「東北地方の復興プランを、比較・検討・吟味しよう」というねらいのもと、生徒たちは効果的な発表を行い、活発に討議をしていました。理科では、「電熱線の電圧と電流にはどのような関係があるか調べよう」というねらいのもと、実験結果をグラフに表してじっくりと考察していました。

本校の研究内容に対し、早稲田大学教職大学院 田中博之教授から「学力向上に向けたしっかりとした取組が行われ、成果をあげている。」という評価と今後へ向けた助言をいただき、大変励みになりました。また、東部教育事務所 飯塚美穂指導主事からは「評価規準が明確であり単元を通じた授業づくりができています」とお話をいただきました。参加者からの感想も好評であり、これからも「基礎基本」を定着させることと、「学習マネジメント力」を高めて主体的に学習を行うことをベースにして、生徒の「思考力・判断力・表現力」につなげていきたいと考えています。

